

A decorative graphic on the right side of the page. It features three overlapping circles of varying sizes, each composed of concentric rings in shades of blue. Two thin blue lines intersect at the top left, forming a large 'V' shape that frames the circles. The circles are positioned in the upper right and lower right areas of the page.

# クラシカルホメオパシー基本講座 5

胃腸（神経・感情）が不調なときの対処法

神経質な方の不調が胃腸に出やすいということは皆さんご存知ですね。神経・感情の乱れから胃腸を中心に身体全体にまで影響が起きる際に使うレメディを学びます。心身は密接に関連していることを再確認して下さい。

CHK クラシカルホメオパシー京都

## 5-1 : 今月の学習ポイント

レメディ数はそれなりの種類を学んで来ました。少し復習しましょう。

1. 「突然の」「急な」症状に処方するレメディは何でしょうか？  
〔 〕
2. 「怪我・事故」の時に、まず考えるレメディは何でしょうか？  
〔 〕
3. 「インフルエンザ的症狀」の時の第一候補レメディは何でしょうか？  
〔 〕
  
4. 根本体質レメディについて次のものは何でしょうか？
  - 1) 見捨てられることを恐れる = ( )
  - 2) ひとつのことに集中すると他のことは気にならない = ( )
  - 3) 外に対して防御的で、内面的にはゆっくりと秩序を作り上げてゆく。  
マイペース = ( )

今は覚えていなくても使ううちに次第に覚えられます。

---

それでは今回「神経・感情の問題から身体的症状に出やすいレメディ 8 つ」  
まずまとめから

### ●胃腸系／神経質レメディ (=イライラ・気難しいレメディ=大抵)

1. Arg-n. アルグ・ニット (アージ・ニット) = 神経が細すぎる
2. Ars. アルセニカム = 自己中心的キチキチレメディ
3. Nux-v. ヌックス・ボミカ = 野心に駆り立てられるイラチレメディ
4. Chin. チャイナ = 脱水 (下痢) レメディ < 生き返りのレメディ >
5. Carb-v. カーボ・ベジ = ガス抜き・便秘レメディ < 生き返りのレメディ >

### ●感情系／特に女性に多く適するレメディ

6. Staph. スタフサグリア = 無抵抗 (屈辱・忍耐) のレメディ
7. Ign. イグナチア = 哀しみのレメディ
8. Cham. カモミラ = 「もう、がまん出来ない！」レメディ

## 5-2 : 胃腸系／神経質レメディ 3 つ

Q. 胃腸の具合が悪くなりやすい人はどんなタイプがイメージされますか？

A. 〔 〕

## 1. Arg-n. アルグ・ニット (アーヂ・ニット)

### ● 中心イメージ

- ・「神経が細すぎて何かが始まる」
- ・「心配をあれこれしてお腹にくる」
- ・「もしかしたら・・・？」を考えすぎるタイプ。

原料の硝酸銀は鏡として使われる。「鏡」から何を連想しますか？

( )

- ・外向的で明るい「人前で」話をすることはできない。
- ・何をしても自信がない> (類似は？ )
- ・広いところ・人ごみが苦手
- ・怖いことだらけ＝高いところ、吊り橋、上司の前、将来、・・・
- ・メンタル面は非常に弱いが感じる事(想像力)は優れている＝芸術家タイプ
- ・お腹が弱い。
- ・甘いもの好きだが食べると悪化。
- ・味の濃いものが好き。
- ・満月のときイライラする。(銀＝月と関係、金＝太陽と関係)
- ・痛みの質＝とがったもので刺される感じ。
- ・試験前＝そのことを考えただけで記憶力が落ちる。
- ・暑がり (類： Sulph.)
- ・飛行機には乗りたくない。
- ・何時に死ぬという予言。(類： Acon.＝急にそうなる。)
- ・迷信事に振り回される。
- ・年より老けて見える。(類： Lyc.)
- ・約束の場所には時間よりかなり早く到着している。

## 2. Ars.アルセニカム

- ・別名「馬のレメディ」馬に適度に飲ませると毛並みがつやつやして元気になる。
  - ・急性症状＝「食中毒」に適する。下痢+嘔吐+冷たく青白い顔(弱る)
  - ・中心テーマ＝「自己と非自己を峻別する」
  - ・夜中の1時頃悪化する。(ぜんそくなど)
  - ・落ち着かない
  - ・ひんぱんに水を飲むがちびちび飲む。一度に飲めない。
  - ・「不安」が中心にある。周りが敵だという感覚＝馬の神経質さに類似
  - ・人に厳しいが一人でのいるのも嫌。(交流する必要はない) → : Phos.
- (例) 交通事故を見た瞬間の気持ち→Phos.とArs.の違い？

( )

- ・自己中心的。
- ・欲が深い。
- ・身なりはきちんとしている。
- ・言葉使いもきちんとしている。
- ・潔癖。キチキチしている。
- ・死が怖い。(類似は? : )
- ・病気は怖い。特にガン(死にむすびつく病気だから)★
- ・細かなことを気にする。けち。
- ・「不安」が強いので依頼心が強い。(反: Nux-v.)
- ・体が冷たく寒がりの人、熱さを強く渴望する事を伴う。
- ・焼ける様な痛み>熱。
- ・仲間を強く切望(恐怖から; Phos.は他人への同情から)。

★参考/怖いものによるレメディの差を見てみると・・・

「Calc.」=感染病と精神病が怖い。

「Phos.」=出血が怖い。すぐに病院に行って確かめて安心。

「Ars.」=病院に行っても不安は消えない。

「Lyc.」=痛み・苦しみを伴う病気が怖い。自分が勇気のないことがばれるから。

### 3. Nux-v.ヌックス・ボミカ

中心テーマ=「野心のレメディ」・内面的に強く駆り立てられている。

思うように出来ないと苛つく。

<この人の一日のイメージ(病理が少し進んだ例として)>

朝: 機嫌が悪い。早朝に目覚めて気になる仕事の事を考えていた。以来眠られず、そのまま朝を迎えた。

起床: 体がだるいが仕事に行かないといけない。

仕事: イライラしている。タバコをよく吸ったり、コーヒーをよく飲んだりする。

夜: お酒を飲みに行かないといけない。胃腸の具合が悪い。(ゲップ・胸焼け)

翌朝: 機嫌が悪い。仕事のことが気になりよく眠れなかった。さて、仕事に行かないといけない・・・

→ こんなイメージです。こういう人は近くにいませんか?

- ・野心家。強く駆り立てられる; 無駄に急ぎ立てる; まるでまだ終わっていない感じ(仕事、排便、排尿)。
- ・潔癖。イライラして怒りっぽい。気むずかしい。暴力に結びつくことも。
- ・どちらかというと痩せ型で顔は黄色っぽい。胃腸・肝臓にトラブルが多い。

- ・楽しいと感じない。プレッシャーが多く、頑張らないといけない。
- ・締め付けられるような痛みがある。背中に響く。
- ・便秘。なかなか出ない。中で新聞を読んでいるタイプ。
- ・頑張るために刺激を求める（酒・タバコ・珈琲・異性）
- ・ワーカ・ホリックで競争心が強い。
- ・人には頼らない。（反：Ars.）
- ・ひどい寒がり。
- ・＜早朝（リフレッシュしない、苛々する、意気消沈、痛み）

※ただ、病理の進んでいない健全なレベルでは彼（彼女）はとても有能なサラリーマンで上司からも信頼されるタイプである。人は「健全な状態」・「病理の状態」・「これらが混在した状態」といろんなレベルにあることに注意して下さい。

※女性の Nux-v. もいる

- ・生理が早すぎる・間隔が短すぎる・量が多くて・色が濃い・生理痛・だるい等など「駆り立てられている」イメージである。

#### 4. Chin. チャイナ＝脱水レメディ

- ・「生き返りのレメディ」脱水症状に効果
- ・ハーネマンが同種の法則を発見した記念碑的レメディ。
- ・中心テーマ＝「ベストなものに到達したい」（精神的脱水感がある。）
- ・脱水症状の人（回復が遅れている）。出血のある手術後、下痢の続いている人。
- ・甘いものが好きだが、食べると悪化（類似は？）
- ・食欲がなく、少し食べると満腹。Nux-v. Lyc. Nat-m. にも似ている部分がある。
- ・美的感覚に優れる。故にベストなものに惹かれる。
- ・ローポテンシーはマラリアの予防として効果。通常のキニーネは肝臓に副作用
- ・寒がり
- ・肝硬変
- ・肝臓、膵臓が同時に悪いとき
- ・周期的症状（マラリア的）
- ・腹部の過度の膨張（ガス）；げっぷをしても好転しない。
- ・＜些細なタッチ、＞きつい圧迫。
- ・夕方や夜は、精神が明晰&豊富なアイディアや計画。
- ・五感が超過敏。

#### 5. Carb-v. カーボ・ベジ 木炭

「生き返りのレメディ」＝酸欠状態に効果。脱水状態 → 「Chin.」を使う。

- ・「生」に無関心・無頓着。青白い顔で生命力が低下している感じ。
- ・欧州では昔からお腹の薬としても利用されている。ガス抜きや便秘に。

- ・胃腸の不調に使うと言う意味では Nux-v. にも似ている。Nux-v. で改善出来ないときにこれを使う。

※要注意＝むやみにハイ・ポテンシーを与えてはならない。V・F を使い切る怖れ。

● 主な特徴

1. 低い生命力、鈍さ、怠惰、冷え。
2. 新鮮な空気を渴望（換気したがる）。＜暖かく湿った天気（蒸し暑い天気）。
3. 手足の氷の様な冷たさ；青白い。血液が流れず澱んでいる様な感じ。
4. 過度の鼓腸；満腹感；一時的に＞げっぷ。
5. ウエスト廻りの服のきつさに耐えられない。
6. 消耗性の病気、出血、長い間の授乳、など 以来よくなるらない。

＜補足＞

- ・手術の後、お腹にたまったガスが出ないときに。
- ・寝る前に悪化。
- ・身体を縛るものを嫌がる。

### 5-3 : 特に女性に多く適するレメディ 3つ

#### 6. Staph.スタフィサグリア

中心＝「屈辱のレメディ」色んな感情を抑制しすぎて発症。

「気がついた時には、既に自分の中になにか入っている」

古風な日本女性タイプのイメージ。（一見、男らしい男性もいる）

- ・恥ずかしがり
- ・多くの不安を感じても出さずに内部にドンドンため込む。
- ・反対しない。ケンカしない。全てを受け入れる。
- ・人に迷惑をかけてはいけないといつも気を使っている。
- ・ロマンチスト。小さな親切にもとても喜ぶ。
- ・「マスターベーション」元々、性的には感受性が高いが、表現の仕方が分からず、抑制してゆく。（性的関係を拒否されることを怖れる）その抑制の結果の自己表現がマスターベーション。
- ・「硬い」何か自分に対して行われる→あきらめて受け入れる→深くたまってゆく→心身共に「硬く」なってゆく→例えば「筋腫」などになって現れやすい。
- ・表現をするのは絵・音楽・詩など。
- ・肉嫌い。
- ・酒・タバコなど刺激物は欲しい。他人のタバコの煙は嫌悪。
- ・＜午後の昼寝。
- ・触られる事に超過敏。

## 7. Ign.イグナチア

「哀しみのレメディ」「ため息のレメディ」「断絶のレメディ」などと表現される  
怒り・哀しみ（失恋・急死）などショックからの発症。

- ・内面の葛藤；ロマンチックな理想主義が、現実と矛盾する。失望から発症。
  - ・女性：男性＝10～15：1の割合。（Nat-m.の男女比は1：1）
  - ・独立的。男性に負けない位の仕事ができる。
  - ・すべて「哀しみ」からスタート。「現実」を認められない。
  - ・敏感。侮辱されると同じ方法で仕返しする。（反：Staph.）
  - ・気分が変わりやすい。ヒステリック。理屈は通じない。
  - ・のどに関する症状。「ため息」「のどの違和感」、「あくび」をよくする。
  - ・静かに悲嘆し考え込む；感情が痙攣状態でてくる：短いすすり泣き、ため息をつく、口の周辺がひきつる、頬の内側を噛む、ぐっと唾を飲み込む、喉の塊など・・・
  - ・果物が嫌い。食べると悪化。
  - ・予想しにくい態度。矛盾した、交替する状態。
  - ・果物と煙草の匂いを著しく嫌悪する
- （※「Nat-m.」との違いをまとめておくと良い。）

片思い→それに気づく→ショック！→現実を認められない→ヒステリー・ため息など→  
発症！・・・の可能性

<参考/哀しみに関係する典型的なレメディ Nat-m. との比較>

	<Ign.>	<Nat-m>
男女比率	女性が多い	男女比は同じくらい
睡眠	眠れる	眠れない
気分	情緒的	理知的（論理的）
行動	予測できない	模範的行動

## 8. カモミラ Cham.（初回学びました）

- ・急な痛み。
- ・甘いものが欲しい。
- ・大量の冷水が欲しい。便の色が薄い。（急性肝炎の症状に類似）
- ・精神＝「もう我慢出来ない！」過剰なイラツキ。痛みに過敏。  
近づくのが嫌になる子供・生理でひどく機嫌が悪い女性にも効果。

基本講座 5 終了